

少子化問題

令和6年 出生数過去最少 720,988人(R6年1月~12月速報)

毎年2月末に前年の出生数の速報が公表されますが9年連続過去最少となりました。1995年、労働力人口は8700万人台でしたが、2030年には約8割の7000万人台に、30年後の2055年には約6割の5300万人台になることが確実です。

働き方改革も、DX化も、ハラスメント防止も、全ては人口減少の対策のように感じます。急に社員が4割も減ったら今の仕事は回らないでしょう。行政もどんどんデジタル化が進み、私の年代には少々厳しいものも感じますが、つべこべ言わずに世の中についていかねば!と思います。

機械化、デジタル化、システム導入など、生産性向上に役立つ費用に対する助成金は豊富です。ご興味がありましたらきりん事務所までご相談下さい。

子育て支援 のご案内

こども家庭庁 企業主導型ベビーシッター利用者支援事業

こども家庭庁は、「子育て支援法」に基づき、仕事と子育ての両立支援事業として、企業に勤める労働者がベビーシッター派遣サービスを利用した場合に、利用料の一部として割引券を発行します。この割引券を受取る為には、まず企業が「実施団体」として登録申請をして承認を受ける必要があります。

対象者・・・承認を得た企業に勤務する者

子の要件・・・小学校6年生まで（障害などの特例あり）

補助額・・・1枚2,200円の割引券を以下の上限で利用できる

1企業の上限・・・1年間→1,200枚

1対象児の上限・・・1日→2枚

1家庭の上限・・・1か月→24枚 / 1年間→280枚



お知らせ

きりん事務所新メンバー紹介

きりん事務所始まって以来、求人も出していないのに「きりん事務所に入りたい」と連絡をくれた鈴木君です。

日本年金機構事務センターに7年間の勤務経験を持ち、実は、困ったことがあると親切な職員の鈴木さんを名指して頼っていたという経緯があります。

年金機構入職前には司法試験にチャレンジしていた秀才肌ですが、少々世間知らずな節もあり。

現在鋭意研修中ですが、どんなセミナーも全て「面白いです。ありがとうございます。」と言ってくれるのがとっても気持ちいいです。

素直で明るく向上心のある若者ですので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

自己紹介

年金機構から今年の1月に移籍してまいりました、鈴木啓介と申します。

年金機構では、6年ほど厚生年金の適用業務、主に新規適用の業務を行っていましたが、きりん事務所の業務の幅広さに面食らう毎日を送っております。

知らないことも多く、ご迷惑かけることもあるかとおもいますが、どうぞよろしく申し上げます。



きりん事務所人事異動 2025年2月1日付 新

旧

上原冬樹	企画業務部長 (M2)	1号2号業務改善統括	企画業務部長 (M3)
金子久美子	係長 (L2)	給与計算業務	主任 (L3)
原田妙子	係長 (L3)	広報・企画業務開発・キャリアアップ補佐	主任 (L3)
鈴木啓介	採用 (S4)	研修期間	

◆山本五十六の名言◆

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ

最も戦争に反対した男

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず

山本五十六から学ぶ

やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず

毎年3月にはこの言葉が頭をよぎります。

山本氏は、1904年に海軍兵学校を卒業し、海軍に所属。1935年(51歳)には連合艦隊司令長官となって海軍実戦部隊のトップに立った人物です。昭和は「厳しい」、平成は「甘い」、という事ではなく、人間の本質は変わらないのだと思います。今月は、日本の難しい時代を生き抜いた軍人、山本五十六氏の名言をご紹介します。